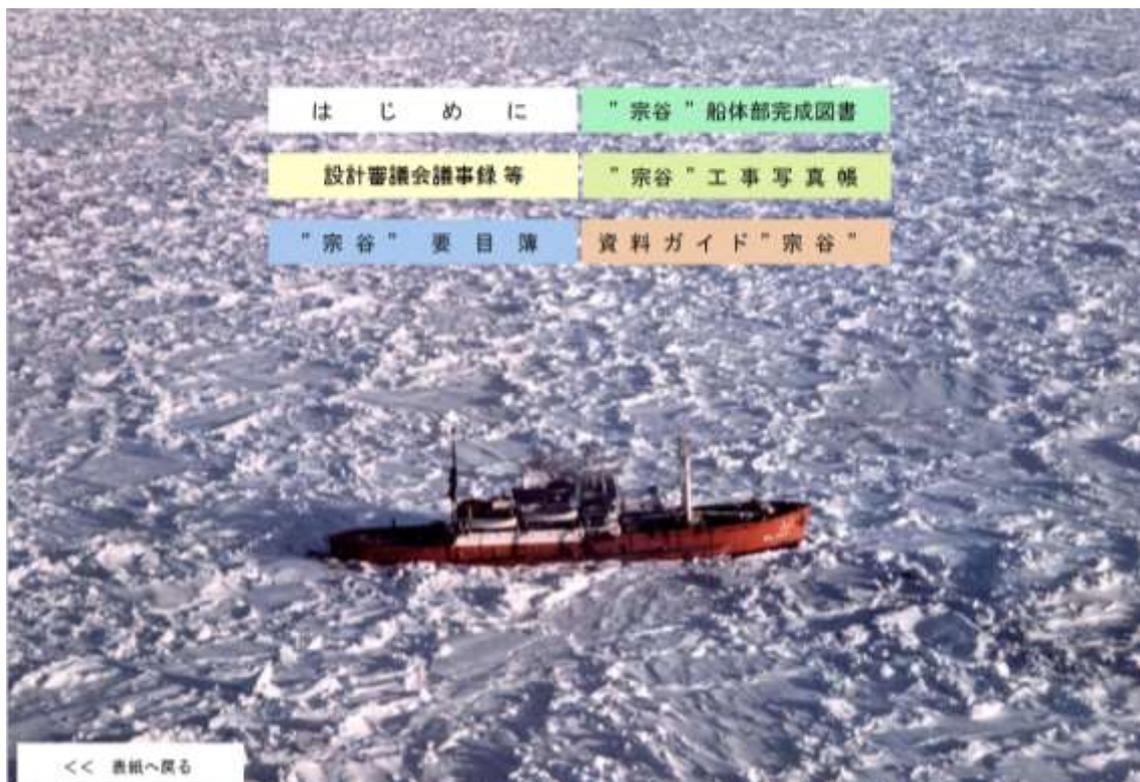


船の科学館収蔵資料目録6 <宗谷>Ver.2.0 (改訂版)





はじめに

西面を海に囲まれた日本は、古来、海を利用し、海に資源を求めて海洋国として発展してきました。船の科学館は、こうした海や船に関する普及啓蒙を目的として、昭和49年（1974）7月20日「海の記念日」に開館した海洋総合博物館で、昭和54年（1979）5月からは前年に海上保安庁を解散された初代南極観測船「宗谷」を受け入れ、隣接する水域での公開を開始しました。

「宗谷」は南極観測船としての活躍が著るですが、誕生したのは昭和13年（1938）2月のこと、ソビエト連邦（現：ロシア連邦）より発注を受けた耐氷型貨物船「ボロチャエフ」として長崎県の川南工業所香焼島造船所で建造したものです。

その後、同年6月におが国の貨物船「地獄丸」と名を変えて竣工。「宗谷」と名前が付くのは昭和15年（1940）6月に日本海軍に所属する特務艦に改装されてからです。戦時下においては、魚雷攻撃を受けても不沉、銃撃や爆撃を受けても損傷軽微と奇跡的な強運を発揮して戦禍を乗り抜け生きのびます。

戦後は、引揚げ船、海上保安庁の灯台補給船としての役割を経て、昭和31年（1956）11月に大改造のうえ初代南極観測船となって東京を鹿児島立ち、苦難を乗り越えて南極観測事業を成功へと導きました。

この「宗谷」について、南極観測船への大改造から返航船となり終焉を迎えるまでのおよそ20年間8回に及ぶ改造の履歴に関する資料を「船の科学館収蔵資料目録6<宗谷>」として平成26年3月に発行しましたが、その後新たに船体部図面や設計審議会議事録等が多数見つかったことから、これらを収録し、「資料目録6<宗谷>Ver.2.0」（改訂版）としたものが本目録です。

本改訂版目録作成には、多くの「宗谷」関係者の方々のご協力を頼りましたが、特にデータ整理・目録作成には宗谷ボランティアの木村洋子さんに多大のご協力を頼りました。ここに衷心より御礼申し上げる次第です。

当館では、今後もこれまでに収集した所蔵資料を分別別に整理分類してデジタル化すると共に、目録として発行してまいります。ご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

平成28年5月

船の科学館
館長 結木 浩司

“宗谷”船体部完成図書

<< メニューへ戻る



第1次改造



第5次改造



第2次改造



第6次改造



第3次改造



第7次改造



第4次改造



第8次改造

南極観測船「宗谷」設計審議会議事録

Seq.	名称	開催日時
1	南極観測船「宗谷」設計審議会(第1回)	昭和三十二年三月四日 08時45分
2	南極観測船「宗谷」設計審議会(構造性能分科会(第1回))	昭和三十二年三月二十九日 13時00分
3	南極観測船「宗谷」設計審議会(設備機関分科会(第1回))	昭和三十二年三月三十一日 13時50分
4	南極観測船「宗谷」設計審議会(構造性能分科会(第2回))	昭和三十二年三月十二日 13時00分
5	南極観測船「宗谷」設計審議会(設備機関分科会(第2回))	昭和三十二年三月十四日 13時05分
6	南極観測船「宗谷」設計審議会(設備機関分科会(機関1分科会))	昭和三十二年三月二十日 13時00分
7	設計審議会(第1回) 訂正表	昭和三十二年三月二十九日

論文

Seq.	名称	執筆者	掲載
1	南極観測船「宗谷」改造の概観	水島 敦雄 (海上保安庁船舶技術部)	航海第9号 442頁 昭和三十二年6～8月
2	南極観測船「宗谷」の改修工事	池水 隆一 (海上保安庁船舶技術部)	航海資料 第10号 昭和三十二年9月20日

